



東参道から片田方面を望む（明治28年）

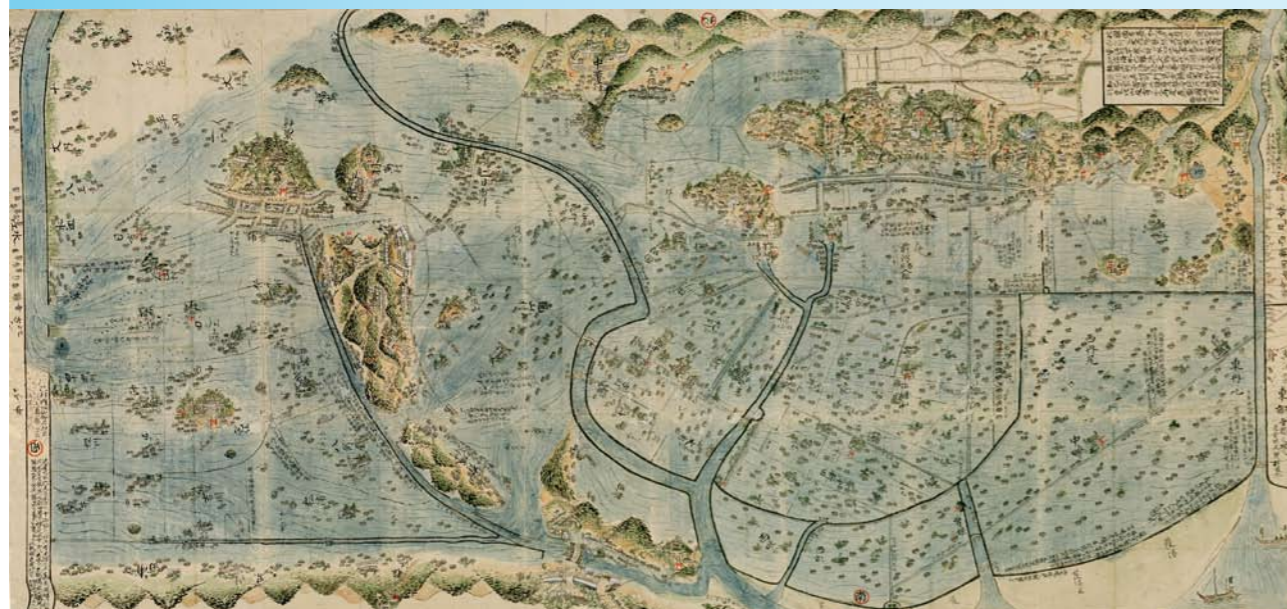


大正期の社殿

拝殿の建具は無く、<sup>しとみど</sup>部戸が付けられている。中段の玉垣、奥の狛犬も無い。右手に神輿庫が見える。



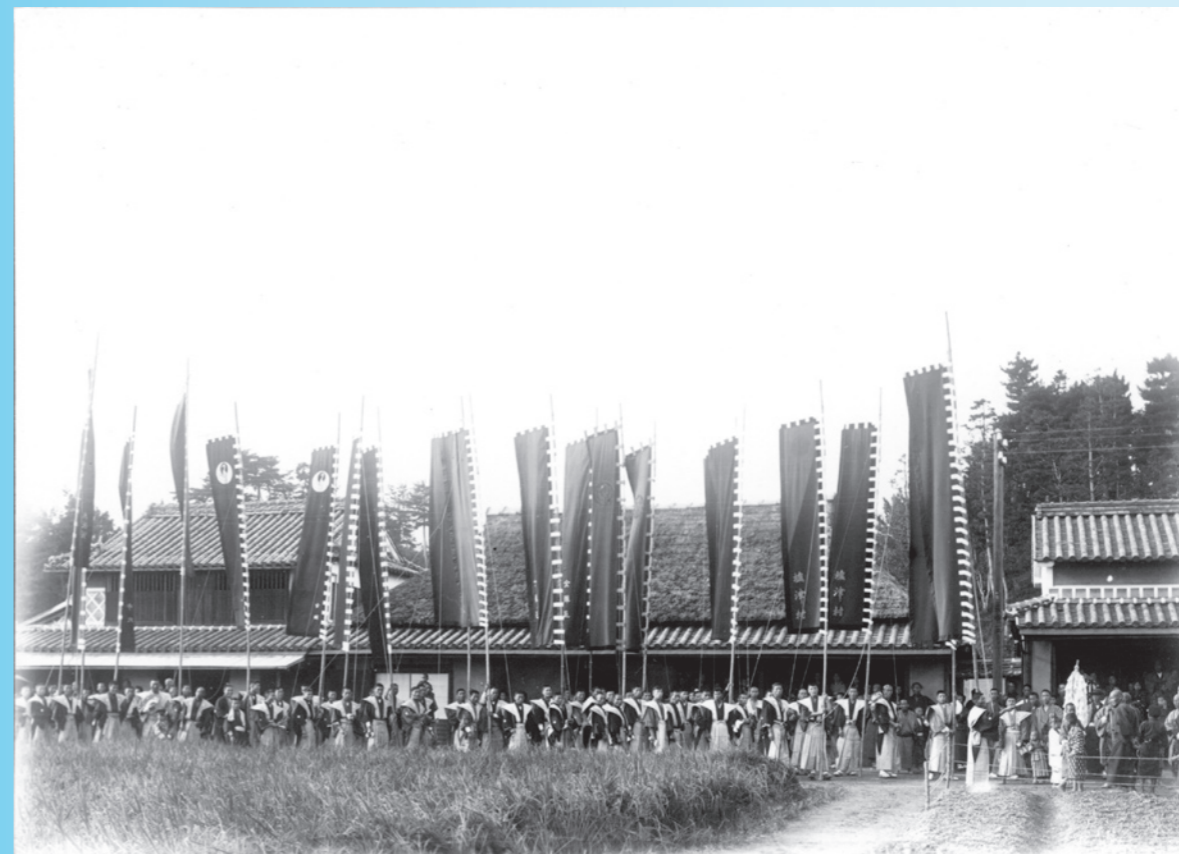
解体前の社殿



高梁川嘉永洪水絵図（早島町教育委員会所蔵）

嘉永3年（1850）6月2日、高梁川を溢れた濁流が、四間堀、六間川を越え亀山一帯を水浸しにして、やがて早島、興除新田、西畦、曾根まで水が一面にわたったため高須賀、早島の人々は船で宮山（鶴崎神社）に避難した。

この洪水絵図は当時、鶴崎神社の大宮司であった太田宗喬氏（東太田家）が描いたものである。



神幸祭風景（明治40年頃）